

市民タイムス

塩尻

第2塩尻 18面に

発行所/市民タイムス:本社/〒390-8539松本市大字島立800番地
TEL(0263)受付47-7777 編集47-7774 広告48-2000 売店47-4755 ©市民タイムス2009年
FAX(0263)受付48-2422 編集47-1654 広告47-8585 売店48-2422 支社/安曇野・塩尻支社/長野・木曾

塩尻支社/〒399-0746塩尻市大門並木町7-5
TEL(0263)54-0085 FAX(0263)53-4442

要約筆記を携帯に送信

市議会で全国初の試み



背後の要約筆記者が入力した通訳文が、傍聴者の目の前にある携帯電話の端末に流れた

塩尻市議会12月定例会の一般質問で14日、聴覚に障害がある傍聴者に、携帯電話を使って要約筆記通訳の文字情報を送る実験が実施された。通訳者がパソコンに入力した質問や答弁の通訳文が、傍聴者が持つ携帯電話に送信され、質疑の様子を同時進行で知ることができる。通訳文を読む端末を手軽に増やすなど、多様な効果が期待できる新しいシステムで、議場で活用されるのは全国で初めてという。

(高石雅也)

質問や答弁 即時に通訳

IT(情報技術)を用いた。

いた要約筆記通訳に取り組む塩尻市のNPO法人(特定非営利活動法人)長野サマライズ・センター(堀内征治理事長)が、ソフトバンクモバイル、東京・筑波技術、群馬の各大学と共同で導入実験をしている「モバイル型遠隔情報保障システム」を使って実施した。

議場で要約筆記者がパソコンに入力した文字情報を、傍聴者団体・塩尻たけのこ電話端末の画面に流れた。傍聴に訪れた聴覚障害者団体の森下尚子代表は「とても役に立った。端末があると有用性を実感して

塩尻市議会は長野サマライズ・センターによる通訳を本格導入している。県内の議会は塩尻市議会と県議会だけで、同センターは今後、新しいシステムの利点を多方面にア

いた要約筆記通訳に取り組む塩尻市のNPO法人(特定非営利活動法人)長野サマライズ・センター(堀内征治理事長)が、ソフトバンクモバイル、東京・筑波技術、群馬の各大学と共同で導入実験をしている「モバイル型遠隔情報保障システム」を使って実施した。

議場で要約筆記者がパソコンに入力した文字情報を、傍聴者団体・塩尻たけのこ電話端末の画面に流れた。傍聴に訪れた聴覚障害者団体の森下尚子代表は「とても役に立った。端末があると有用性を実感して

ビールし、通訳導入の動きを広げていく考えだ。議場の音声が入る場所ならば要約筆記者はどこで

も通訳文を入力・発信できるため、「キーボードの入力音が気になる」などの理由で、傍聴席に要約筆記者を入れにくい課題も解消できると期待する。問い合わせは長野サマライズ・センター(☎0263-52-4148)へ。